



EAST TIMES

東日本保証広報誌 2025 冬号

特集

「かがやく」

特集「かがやく」

「かがやく」をキーワードに、社会資本整備に関わるさまざまな取り組みについて考えていく

12 キラキラとかがやく

Photo Gallery
「かがやく」土木！
「かがやく」建築！



東京ゲートブリッジ(2012年竣工 東京都江東区)

04 かがやく まちづくり

首都高更新の難工事に併せて進む
日本橋が「かがやく」まちづくり

巻頭インタビュー

首都高速道路株式会社 更新・建設局 副局長 日隈 宏治 氏



故・菊岡俱也氏旧蔵の社史(一部)

14 建設産業図書館の 社史・団体史コレクション



(提供:株式会社 橋本店)

08 笑顔がかがやく

健康経営で従業員の笑顔が「かがやく」
長時間労働の是正へ、まず時間把握から

株式会社 橋本店 代表取締役 社長 武田 文孝 氏

16 連載「けんせつのでんせつ」シリーズ81

建設の幻獣 2
手斧梵論ほか

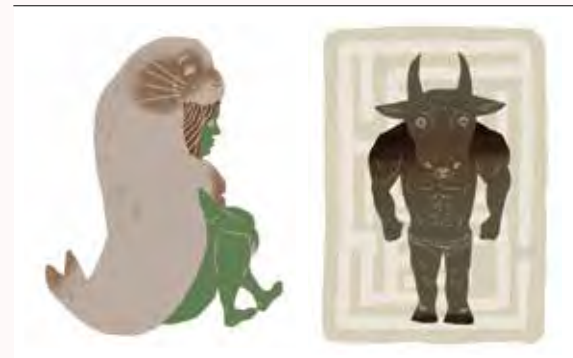
建設産業図書館事務局 江口 知秀

18 トピックス 愛知支店から 光り輝くレトロな美 「名古屋市市政資料館」

10 美しくかがやく

地域の話 よりみち この街 Vol. 31

昼は陽光の中で、夜は闇に美しく「かがやく」、
ガラスブロックの建築 鈴木 伸子



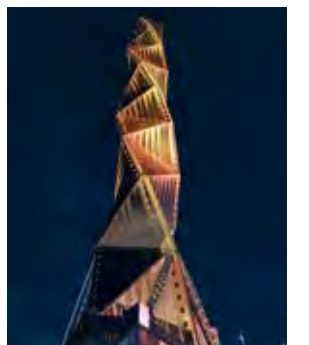
セルキー(左)、ミノタウロス(当館職員 上原由子画)



名古屋市市政資料館
(愛知県名古屋市 写真提供:(公財)名古屋観光コンベンションビューロー)



日本橋高島屋S.C.本館(東京都中央区 重要文化財)



表紙の写真—
水戸芸術館シンボルタワー
(茨城県水戸市)

1990年に開館した複合文化施設「水戸芸術館」のシンボルとして建てられた塔。設計は国際的に活躍した建築家の磯崎新が担当した。ガラス張りのエレベーターで内部構造を見ながら地上86mにある展望室にのぼることができる。

▶P12-13 Photo Gallery
「キラキラとかがやく」をご覧ください。

2040年度、日本橋が架かる日本橋川の上に77年ぶりに青空が戻る。高架橋で河川を覆う首都高速道路(以下、首都高)都心環状線の神田橋ジャンクション(以下、JCT)―江戸橋JCT間の約1.1kmの事業区間を、周辺再開発に併せ地下構造に切り替えるためだ。工事の進捗や都心部での更新の苦労などを、事業主の首都高速道路株式会社で更新・建設局 副局長を務める日隈 宏治氏に聞いた。

――現場ではいま、既設の橋脚から橋げたを受け替えるための橋脚の設置工事や河積阻害率の上昇を抑えるための護岸拡幅工事など関連の工事が進んでいます。工事全体の進み具合を教えてください。

日隈 主要な工事は大きく3つに分かれています。これらはいずれも施工者に発注済みで着手に向けた準備を進めています。

工事の一つは、更新区間の西寄り、常盤橋近辺で進める開削トンネル工事です。2つ目はその東隣、日本橋近辺では、シールドトンネル工事、さらにその東寄りの江戸橋JCT近くで進める開削トンネル工事と擁壁・掘削工事を進めます。3つ目は、今回の工事で新設するトンネル

と既設の高架橋をつなぐ工事です。

2040年度、青空復活 日本橋川内の高架橋撤去

これらの工事がすべて完了するのは2035年度の見通しです。そこから車の流れを地下構造に切り替え、日本橋川内の高架橋を撤去する工事を進めます。日本橋川の上に青空が戻るのは現在、2040年度の予定です。

――この工事は日本橋地区のまちづくりの一環として行われているように見えますが、計画そのものは首都高の大規模更新として浮上したものでした。

日隈 そうです。首都高都心環状線は道路渋滞の緩和を図ろうと建設されたもので、神田橋JCT―江戸橋JCTの区間は東京オリンピックを翌年に控えた昭和38年(1963)12月に開通しました。

その後、首都高のネットワーク化が進む一方で、年数を経た構造物の安全・安心を確保する必要が高まり、大規模更新の計画を立てるようになりました。当初は、現在と同じ高架橋への架け替えという方向で計画を検討していました。

●現在の日本橋川周辺の景観と2040年度工事完了後のイメージ



(提供:首都高速道路株式会社)



かがやく まちづくり

特集「かがやく」

首都高更新の難工事に併せて進む
日本橋が「かがやく」まちづくり

巻頭インタビュー

首都高速道路株式会社 更新・建設局 副局長

日隈 宏治氏

限りません。当初打ち出していたのはこのほか、1号羽田線東品川・橋・品川埋立部約1.9km、同高速大師線約0.3km、3号渋谷線池尻・三軒茶屋出入口付近約1.5km、都心環状線銀座・京橋出入口付近約1.5km——の4区間。いずれも1960〜70年代に供用開始されたものです。東品川・橋・品川埋立部と高速大師線はすでに工事中ですが、池尻・三軒茶屋と銀座・京橋の各出入口付近は都市計画事業認可済みという段階です。

なお2014年度から継続する法定点検で新技術を活用しながら詳細に実施したところ、更新を必要とする箇所が約21.6kmにわたって明らかになりました。1号羽田線羽田トンネルや高速湾岸線荒川湾岸橋などです。2023年度には、この2カ所を大規模更新の区間として新たに加えました。

—— 神田橋JCT—江戸橋JCT間の大規模更新の計画が、地下

も運行していますから、同社との調整も不可欠です。地下空間を利用するうえでの制約は極めて大きい。

周辺再開発と連携・調整 地元のまちづくりに貢献

高架橋なら地下埋設物と基礎との干渉を避けるだけで済むのですが、地下トンネルはそう簡単ではありません。地下鉄は別として、移設可能な埋設物は原則として仮設工事の段階から移設していただきます。私たちは民間企業ですから、移設費用はもちろん当社側で負担することになります。

また周辺には、再開発が同時に進んでいる地区が5地区もあります。そこで建設中・計画中の建築物との調整も必要です。首都高側

化での造り替えという形に落ち着いた経緯を教えてください。

日隈 転機は平成13年(2001)です。国土交通大臣を務めていた扇千景氏が「首都高の高架に覆われた日本橋の景観を一新する」と発言されたのです。それをきっかけに日本橋地区での首都高の在り方が問われ始め、最終的には周辺再開発に併せ地下化での造り替えを実施するという形に落ち着いたのです。日本橋の上に青空を取り戻そうという地元の思いが実を結びました。

箱崎JCTまで渋滞半減 江戸橋JCT南下を廃止

——なるほど、そうした経緯でまちづくりと連携しながらまちの景観を変えるという役割を担うようになったのですね。地下ルート開通の効果としてはほかに、どのようなが見込まれますか。

日隈 一つは、江戸橋JCT付近での交通状況の改善です。そのさらに東寄りの箱崎JCT方面に向かう車両が多く、その手前では最大3.0kmに及ぶ渋滞が生じていました。それが、江戸橋JCT付近での交通状況を悪化させていたのです。

そこで、江戸橋JCTから都心環状線を通り汐留JCT方面に南下するルートを今回の地下化に併せて廃止します。ルート見直しによつて、箱崎JCT手前で生じる渋滞長は最大でも1.5kmにまで半減する見通しです。

汐留JCT方面に南下しようとする車両は、江戸橋JCTの西寄りにある神田橋JCTでひと足早く、首都高八重洲線を南下してもらうこととなります。それを都心環状線につなげるため、新京橋連絡路約1.1kmを新たに整備します。令和6年(2024)6月にすでに都市計画事業認可済みで2035年度完成を見込んでいます。

——地下ルート開通の効果としてはさらに、車両の走行性向上も打ち出しています。

日隈 はい。これは単純に、首都高建造当時と現在とでは道路構造令上の基準に違いがあるからです。具体的には、0.5mの路肩の幅員が0.75mや1.05mまで広がっています。その結果、道路上に空間的な余裕が生まれ、走行性が向上するのです。

——都心部の密集地で、しかも周辺地区では再開発が並行して進ん

で進める地下工事の妨げにならないように、再開発側で進める建築工事に配慮していただいています。工事中には資材置き場などに用いる地上部の施工ヤードも、使用可能な土地が限られるだけに、その利用には関係者間の調整が必要です。

もちろん事業者としては、正直再開発側との事前調整はないほうがやりやすい。再開発側でも、地下化事業がなければ、自由度は高いでしょうね。ただ、首都高は都心部に整備されているインフラだけに、そうした事前調整からは逃れられません。

——冒頭にお聞きした3つの工事はこれからです。工事開始をどんなお気持ちで迎えますか。

日隈 現地で工事を始めると、予想もしなかったことが分かったり

起きたりするものです。施工上の課題はまだ今後も出てくるのではないかと、覚悟を決めています。最も恐れているのは、日本橋川の水です。水は生き物ですから。きちんと止水できるか、要注意です。

——最後に、日本橋地区のまちづくりの一端を担う立場から、いまの思いをお聞かせください。

日隈 正直、日本橋川を覆う高架橋は高度経済成長期を語る土木遺産のような一面もあると思います。しかし日本橋の上に青空を取り戻したいという地元の方々のためにも、撤去はやむを得ません。再開発側と連携・調整し、それに併せて地下化することで、まちづくりに貢献していきます。

日隈 宏治(ひぐま こうじ)

【現職】
首都高速道路株式会社 更新・建設局 副局長
【略歴】
1990年4月首都高速道路公団、入団。2020年7月更新・建設局 日本橋プロジェクト推進部長、2021年10月技術部 DX推進室長、2023年7月保全交通部 道路情報・交通室長、2024年7月より現職。

●神田橋JCT—江戸橋JCT間地下ルートのイメージ



(提供:首都高速道路株式会社)

●首都高の大規模更新実施区間



(提供:首都高速道路株式会社)

でいます。工事を進めるうえでは多くの課題に悩まされそうです。どんな課題が挙げられますか。

日隈 何よりも、事前調整です。

地下工事に共通の課題です。地下埋設物が多い。工事に入る前に、東京電力、東京ガス、東京都水道局、NTT東日本など、ライフライン事業者との調整が欠かせません。この区間内には東京メトロの地下鉄

●橋本店で実施した時間外労働の是正

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
橋本店	月60時間 年間720時間					720時間		
	月45時間 年間540時間					540時間		
	月30時間 年間360時間				橋本店は2021年度までに達成		360時間	
宮城労働局（参考）	一般則 月45時間 年間360時間	360時間						
	特例 月60時間 年間720時間	960時間				840時間	720時間	
	改正法施行5年後一般則適用（罰則付）		改正法施行予定					360時間
	日建連取り組み 年間720時間	960時間		840時間		720時間		

（出典：株式会社 橋本店 ウェブサイト）

「例えばまちなかの建築現場では、資材搬入が近くの小学校の通学時間帯にぶつからずに済むため効率が上がる、という声が上がっています。一方で、『子どもの登園に付き添えない』とか『家族に早起きを強いることになる』といった困惑の声も聞かれます。今後の課題と考え、改善を検討中です」

長時間労働の是正という観点からの効果は明白だ。自主行動計画で定めた目標値を段階的に達成し、時間外労働は2024年度、労基法で定める上限規制の半分を切る月20時間以内に収まる。「移動時間の削減とBIM／CIMを利用した3D図面の活用が効いています」と武田氏は成功の要因を分析する。

労働時間が短くなってもそれに連動して給与まで減ることがない

検査時に提出する書類を見栄え良く作成し工事成績評定で高い点数を上げられる人材など、適性の高い技術者を担当役員が選ん

従業員200人規模の地域建設企業でもここまでやれるという自覚を持って進めている――。働き方改革に向け決意を語るのは、宮城県仙台市に本社を置く株式会社 橋本店（以下、橋本店）代表取締役 社長 武田 文孝氏だ。

「例えはまちなかの建築現場では、資材搬入が近くの小学校の通学時間帯にぶつからずに済むため効率が上がる、という声が上がっています。一方で、『子どもの登園に付き添えない』とか『家族に早起きを強いることになる』といった困惑の声も聞かれます。今後の課題と考え、改善を検討中です」

長時間労働の是正という観点からの効果は明白だ。自主行動計画で定めた目標値を段階的に達成し、時間外労働は2024年度、労基法で定める上限規制の半分を切る月20時間以内に収まる。「移動時間の削減とBIM／CIMを利用した3D図面の活用が効いています」と武田氏は成功の要因を分析する。

労働時間が短くなってもそれに連動して給与まで減ることがない



たけだ ふみたか
株式会社 橋本店
代表取締役 社長

ように、橋本店では賃上げにも気遣う。「2023年度に削ることができた残業代の金額は、年収が大きく変わらないように定期昇給とベースアップに充当しています」（武田氏）。

現状、作業効率は期待通りに上げられているとみる。しかし、生産性の向上は、それとは別物という認識だ。「働き方改革に向け先行投資もかさんでいます。いくら作業効率が上がっても、それが収益増に結び付かないと意味がありません」。武田氏は自らそう戒

朝イチの働き方は、良いことばかり！

毎月給与面でも橋本店が最も満足企業にも選ばれたこと、橋本グループ一として朝型勤務導入に努め、建設業はもとより時給が最も高く、給与に満足し、働きがよいと評価されています。

朝型勤務
7:00～16:00

朝型勤務導入の5つのメリット

①生産性の向上

期の30分は夜の残業時の3時間に匹敵
【朝は夜の6倍、生産性が上がる】

②脱炭素への取組

通勤時の渋滞や混雑を避けることでCO₂排出量が削減できます。

橋本グループで月8,000台分のCO₂削減
※グループ全体のCO₂削減量は約1,000トン/月です。
※削減量は約1,000トン/月です。

③ワークライフバランス

家族との時間が増えたり、プライベートが充実

④熱中症対策

朝の涼しい時間帯から仕事を始めることで、熱中症のリスク軽減につながります。

⑤スキルアップ

リスキリング（学び直し）や若手社員の実務取得のための学びの機会が増えます。

リスキリング 2時間

WMS8 (ウムス8)
W=Work (仕事)
M=My Time (余暇)
S=Sleep (睡眠)
8=8+8+8ルール

朝型勤務推進ポスター（提供：株式会社 橋本店）

業 務効率推進課の人員は現在、3人ずつ。「例えば完成

朝7時から夕4時までの朝型勤務で生産性向上へ

「バックオフィスという役割を明確に打ち出したため、現場側はそこから切り出した業務を頼みやすくなつた一方、業務効率推進課側は頼みに応じやすくなつたとみえています」。

その意義を武田氏はこう説く。「バックオフィスという役割を明確に打ち出したため、現場側はそこから切り出した業務を頼みやすくなつた一方、業務効率推進課側は頼みに応じやすくなつたとみえています」。

令和6年（2024）4月からは、土木と建築の両部門に業務効率推進課を立ち上げた。BIM／CIMを利用した3次元（3D）図面の作成やドローン測量など専門性の高い業務を現場業務から切り出し、一元化するための受け皿になる専門部署だ。

その意義を武田氏はこう説く。「バックオフィスという役割を明確に打ち出したため、現場側はそこから切り出した業務を頼みやすくなつた一方、業務効率推進課側は頼みに応じやすくなつたとみえています」。

「安全パトロールなどのタイミングで行くのが適当か、現場の状況を確認したうえで判断できるように改めました」と武田氏は仕組みを整えた意義を説く。発注者との打ち合わせには、オンライン会議システムを積極的に利用する。「発注者側の担当者も一人で複数現場をみる必要があることから、互いにとって好都合です」（武田氏）。

原因は移動や書類の多さ ICT活用で移動合理化

「の危機感をバネに、橋本店では働き方改革に本腰を入れる。平成30年3月にはまず、『働き方改革と建設業適正取引推進』に向けた自主行動計画」を策定。長時間労働の是正と週休2日の推進に向け目標値を定めた。目標値はともに2018年度以降、段階的に強化を図る設定。例えば長時間労働の是正では、時間外労働の目標値を2018年度は月60時間・年間720時間以内に、2022年度は月45時間・年540時間以内に定めている。

一方、労働時間の把握に1年かけて取り組んだ。「どのような仕事にどの程度の時間を割いているのか分からないと、労働時間を短縮しようがないという考えからです」（武田氏）。

その結果、現場や発注者との間の移動や施工に必要な書類の作成に半分以上の時間を投じていることが判明。これらの時間削減に取り組んでいく。

例えば、土木・建築の各現場にはカメラを設置し、その映像を本社内に置くモニターに映し出す仕組みを整えた。「安全パトロールなどのタイミングで行くのが適当か、現場の状況を確認したうえで判断できるように改めました」と武田氏は仕組みを整えた意義を説く。発注者との打ち合わせには、オンライン会議システムを積極的に利用する。「発注者側の担当者も一人で複数現場をみる必要があることから、互いにとって好都合です」（武田氏）。

橋 本店は創業140年以上の歴史を持つ地域建設企業。宮城県内を中心に土木・建築事業を手掛けてきた。

東日本大震災以降、震災復旧・復興工事に追われ多忙を極めていた。しかし、平成30年（2018）6月に労働基準法が改正され、働き方改革を迫られる。

法改正では時間外労働の上限規制が罰則付きに改められ、月45時間・年360時間が適用される。ただし、法施行から5年間は猶予期間だ。

「月平均残業時間は当時80時間程度。このままでは5年後は危機的な状況になる、と当時の社長（現代表取締役会長CEO）は危惧していました」と武田氏は語る。

時間外労働の上限規制適用を前に、7年前から取り組み始め、月平均残業時間をほぼ20時間以内に納める成果をすでに上げる。

橋本店の働き方改革

地球環境・社員自身も豊かになるためのサイクルでSDGsを推進！

残業月20時間以内
心身ともに健康で精神力・効率アップ！
集中して早く業務を終わらせる。

8時間睡眠
家族と夕食
育児のリスクが低下、家族と一緒に過ごす時間を大切にできる。

仕事の効率性UP
BIM/CIMなどの最新技術の活用で業務効率化アップ！

CO₂削減
BIM/CIMなどの最新技術の活用で業務効率化アップ！
AR（拡張現実）を共有でき、作業効率がアップし、通勤時間が短えられるため、クリーンな環境を実現。

健康経営で従業員の笑顔が「かがやく」
長時間労働の是正へ、まず時間把握から

心身の健康
ワークライフバランス

SDGsの推進
1日1日を8時間ごとに3つに分け、それぞれ「仕事」「健康」「自分の時間（家族と夕食・中絶）」において、ワークライフバランスを整える考えです。

昼は陽光の中で、夜は闇に美しく「かがやく」、 ガラスブロックの建築

輝く建築というと、まずガラス外壁の建物が思い浮かぶ。昨今、ガラスカーテンウォールの超高層ビルは数多く見かけるが、その一方で、築50年以上の歴史的な建築としてシブい味わいを感じるのは、高度経済成長期に建設されたガラスブロックを外壁に用いたビルディングだ。

ガラスブロックは、1960～70年代にかけての工業化で大量生産されるようになり、ビルの外壁や内装などに大いに用いられるようになった。

日中と夜それぞれの光の効果で異なる表情を見せるガラスブロックは、建物の姿をより魅力的に演出する。今回は、そんな美しく輝く建築を紹介してみよう。

村野藤吾が百貨店建築に たびたび用いた高級建材

有楽町駅前の読売会館。戦前戦後と活躍した建築家・村野藤吾の作品だが、ビックカメラ有楽町店の入居するビルと言えはわかりやすいかもしれない。竣工時から平成12年(2000)までは、さとう東京店が入居していた。

この建物は、昭和32年(1957)築。同じ年には、隣り合う、現在は東京国際フォーラムの建っている場所に丹下健三設計の東京都庁舎が竣工した。その都庁舎は、都庁の新宿移転に伴い解体されたが、こちらの村野建築は築70年近くを迎えながら今も健在だ。

1950年代当時のガラスブロックは、一つひとつが手作業で製作

されていた高級建材。量産される工業製品ではなく、一つひとつが工芸品のようなもので、高価であるがゆえに、百貨店という非日常のショッピングの場に用いられることが許されたとも言えるものだ。この読売会館は、有楽町駅前の

三角形の敷地に建設された宝石箱のような外観の建物。その設計意図は、旧国鉄の有楽町駅ホームや駅前からも目立つ場所に、昼間、夜で印象の異なる建物を創りたかったからとも思える。改装されているが、今も外壁のガラスブロック



読売会館(1957年築 東京都千代田区 設計:村野藤吾)

のほか、階段や低層階のエスカレーター周りなどに村野藤吾ならではの空間の魅力が残っている。

日本橋高島屋S.C.本館は、同じく村野藤吾の設計で増築されたガラスブロック外壁の百貨店建築。昭和8年(1933)築の高橋貞太郎の設計による建物に、村野藤吾が、戦後、昭和27年(1952)から昭和40年(1965)にかけての4次にわたる増築を加えたのが、現在の本館建物だ。

平成21年(2009)に百貨店建築として初めて重要文化財に指定された。中央通りに面したファサード部分だけでなく、増築された部分も含めての評価によるものだ。建物南側のガラスブロック外壁は、昭和27年の第1次増築と、



日本橋高島屋S.C.本館(1933年築 1952年～1965年増築 東京都中央区 重要文化財 設計:高橋貞太郎 増築設計:村野藤吾)



柳屋ビルディング(1964年築 東京都中央区 設計:伊藤喜三郎)

すずきのぶこ 東京生まれ。東京女子大学卒業後、雑誌「東京人」編集部勤務。1997年より副編集長。2010年退社後、都市、建築、鉄道、まち歩きなどをテーマに執筆活動を行う。

(文:鈴木伸子)

さらにもう一件、都心に建つ魅力的なガラスブロック建築を紹介したい。日本橋交差点に面している柳屋ビルディングだ。

昭和39年(1964)築なので、築60年。ガラスブロックとガラスを組み合わせた障子のような水平窓が印象的なデザインで、周辺で大規模再開発が展開されている日本橋交差点界隈においても異彩を放ち、都心における代表的なガラスブロック建築と言ってもよい。

設計は伊藤喜三郎。この建物に

日本橋交差点で光り輝いている 宝石箱のような建築

使用するために、伊藤喜三郎建築研究所の担当設計者が、日本電気硝子株式会社とともに、黒色の長方形ガラスブロックを新たに開発したそう。

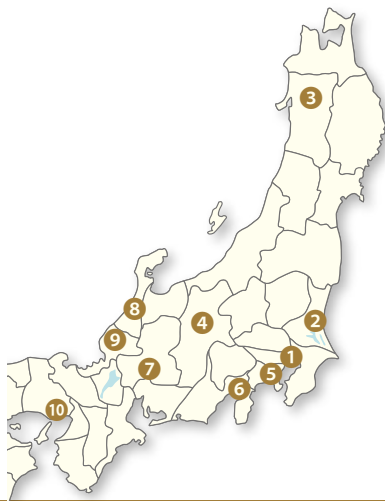
ガラスブロックは、1970年頃に生産量のピークを迎え、その当時は製品の種類も多く、建物によりさまざまな表情を見ることができたが、その後、国内生産している会社は、日本電気硝子株式会社の1社のみ。ただ、建材としての技術革新は進んでおり、現在も外装材、内装材としてさまざまな建物に用いられている。



「かがやく」土木！ 「かがやく」建築！

4	3	2	1
6	5		
8	7		
10	9		

1. 東京ゲートブリッジ(2012年竣工 東京都江東区) 2. 水戸芸術館シンボルタワー(1989年竣工 茨城県水戸市) 3. 森吉山ダムは、東北一長いロックフィルダム。七夕や紅葉など季節ごとに趣向を凝らしたライトアップを行っている。(2012年竣工 秋田県北秋田市 写真提供:国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所) 4. 現存する五重六階の天守の中で日本最古の国宝松本城に鮮やかなプロジェクションマッピングが施される松本市イルミネーション。(1593～1594年築造 長野県松本市 写真提供:松本城管理課) 5. 横浜マリンタワーは、開港100周年の記念事業として建設された横浜のシンボル。(1961年竣工 神奈川県横浜市 写真提供:横浜マリンタワー) 6. 東海地震の津波対策の一環として建造された沼津港大型展望水門びゅうお。地上30mのところに展望施設が併設されている。(2004年竣工 静岡県沼津市) 7. 駅とまちを光でつなぐ社のイルミネーションは、岐阜駅前広場から金公園付近まで、約16万球の電飾で彩るライトアップイベント。(2019年～開催 岐阜県岐阜市 写真提供:岐阜市役所鉄道高架推進課) 8. 加賀藩代々の藩主たちが愛でた大名庭園を、気品ある灯りで表現している金沢城公園 玉泉院丸庭園。(2015年再現 石川県金沢市 写真提供:石川県土木部公園緑地課) 9. 福井城・笏谷石水鏡は、築城以来ほぼ形を変えずに現存している福井城址の石垣。笏谷石の石垣が季節のカラーで水面に映り込む。(1606年竣工 福井県福井市 写真提供:福井県 未来創造部交通まちづくり課) 10. 阪神・淡路大震災の記憶を後世に語り継ぐとともに、神戸の希望を象徴する行事として開催してきた神戸ルミナリエ。(1995年～開催 兵庫県神戸市 写真提供:神戸ルミナリエ組織委員会)



「ライトアップ」と聞くと、ちょっとワクワクする。空気が澄んでいる冬は魅力たっぷりの夜景鑑賞ができるチャンスだ。今号では、寒さを忘れて思わず見惚れてしまうような「かがやく」土木・建築物を紹介する。

まずは、東京都大田区と江東区を結ぶ東京港臨海道路に架かる東京ゲートブリッジ。恐竜橋の愛称で親しまれている長さ2618mのこの橋のライトアップは、LEDカラー照明や太陽光パネルを設置し、消費電力の約4割を太陽光発電でまかなう環境配慮型。日没から午前0時まで毎日、夜ならではの東京ゲートブリッジの魅力を堪能できる。

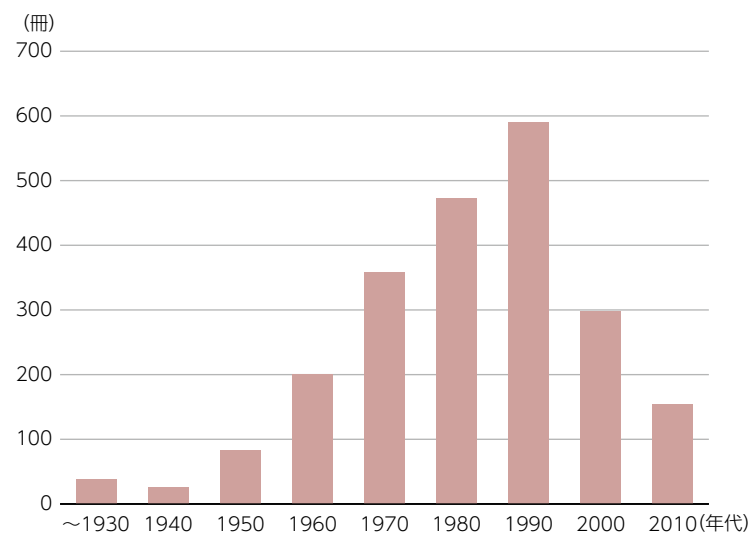
続いては、茨城県水戸市にある水戸芸術館シンボルタワー。高さ100mのこのタワーは水戸市制100周年を記念して建設された。一辺9.6mの正三角形のチタンパネル57枚を組み合わせた三重らせんが空に向かって上昇していくデザインが未来的なイメージを喚起させる。ライトアップされ、季節や時間によって異なる表情を見せるこのタワーは鮮やかな光のアート作品だ。

この他にも、ライトアップしている土木・建築物が数多くある。万全の防寒対策を施し、ライトアップを楽しみながら土木や建築の価値を再発見してほしい。



故・菊岡俱也氏旧蔵の社史(一部)

●社史・団体史の刊行年別所蔵数



日本で唯一の建設専門図書館

建設産業図書館 利用案内

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ1階

電話：(03)3545-5129 FAX：(03)3545-5141

開館時間：9:30~16:30

休館日：土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間

利用料金：無料

●主な収蔵分野：建設産業史、社史・団体史・伝記、建設統計、建設業経営、建設関連法規、建設関連文学

●特設文庫：古川修文庫、菊岡俱也文庫

●館内施設：閲覧席22席、AV視聴コーナー2席、検索コーナー2席

●貸出：2週間以内5点まで。宅配による貸出・返却も可

<https://www.ejcs.co.jp/library/>



蔵書検索可



蔵書の調べ方

当館所蔵の社史・団体史は、どなたでも館内にて閲覧していただけます。また一部を除き貸出も可能です。

の社史・団体史と、その他の蔵書は当館に収蔵されています。当館ではこれらの資料を礎として、多くの業界関係者のご協力のもと、社史・団体史の収集を行ってきました。今後も収集・保存に努めてまいりますので、新たに社史・団体史を刊行される際には、ご一報ください。

どのような社史・団体史を所蔵しているかは、当館ホームページの「蔵書検索」より検索できます。フリーワードの検索窓に、「株式会社」や「一般社団法人」などを省いた企業名・団体名を入力すると、社史・団体史を含めた検索結果が表示されます。なお、名称は発刊当時のものとなっています。企業名の変遷は『企業名変遷要覧』（日外アソシエーツ）などで確認できます。その他、詳しい検索の仕方や所蔵資料につきましては当館までお問合せください。

建設産業図書館の 社史・団体史コレクション

建設産業図書館では、建設企業や団体の社史・団体史を収集しています。現在の所蔵数は2千冊を超え、建設関連の社史・団体史においては日本有数のコレクションとなっています。

社史・団体史の資料価値

社史には、沿革や経営理念、事業内容や業界の動向、創業者の逸話などが企業の内部情報に基づき記されています。また、資料編として、組織構成の変遷、定款、規約、資本金や完工高の推移などが記載されていることも多く、企業分析や経営史、産業史研究の情報源としても活用されています。当館では、社史・団体史を建設産業の歴史を知るための資料と位置付け、平成14年(2002)の開館当初より継続的に収集を行っています。

所蔵する社史の中で刊行年の古いものでは、『鐵道工業株式合資會社二十年沿革小史』(1928年)、『鹿島組五十年小史』(1929年)、『創業五十年史』(小野田セメント製造)(1931年)などがあります。また、団体史では『大阪土木建築業組合沿革史』(1926年)、『東京土木建築業組合沿革誌』(1937年)など

を所蔵しています。初期の建設業についての記録が多くは残されていない中、このような社史・団体史に掲載された各企業・団体による遡及的な記述は、建設産業史研究において貴重な情報となっています。

村橋勝子著『社史の研究』によると、社史は1900年代初頭に銀行や鉄道会社などで刊行されるようになり、第二次世界大戦前の1930年代後半には、ほとんどの業種で刊行されたといえます。全業界の社史の刊行数は、戦中・戦後の混乱期に減少するものの、高度経済成長期を経て急激に増加し、その後1990年代には減少傾向に転じているようです。当館の蔵書数では1990年代に刊行されたものが最も多くなっていますが、2000年代以降は減少しています。同書では、社史の刊行数の減少の背景には、周年を迎える企業数がピークを過ぎたことや



「鹿島組五十年小史」(左)「鐵道工業株式合資會社二十年沿革小史」



「創業五十年史」(小野田セメント製造)

社史・団体史の収集

社史・団体史は、ほとんどが非売品であり、一般に流通しておらず刊行情報も掴みづらいため収集は容易ではありません。

建設産業史の研究者であり、当館の初代館長を務めた故・菊岡俱也氏は、戦前より刊行された建設関連の社史・団体史について長年にわたり調査し、その成果を昭和63年(1988)に『建設業社史・業界人伝記目録』としてまとめました。また菊岡氏が収集した多数

不況が影響していると分析しています。



建設の幻獣2 手斧梵論ほか

手斧梵論

江戸中期の俳人菊岡沾涼の『本朝俗
諺志』には、手斧梵論という妖怪とも妖
精とも幻ともつかないものが紹介されて
います。これは大工道具の手斧に形や大
きさが似ており、ふらふらと空中をさま
ようだけで害はなく、見物に訪れる旅
人もあったとか。

「上総国鳴戸村願性寺禪宗此寺に毎
夜てうのぼろと云もの出る大さかたち
ともに大工道具の手斧の柄にちかはさ
るもの鳥むしなどの飛ことくふらりふ
らりと飛めぐり人の目のうへ鼻の先をし
づかに行かふ也手ちかく来るを取らん
とするにひらりと横へきれうへにあがり
中ゝとる事あたわすた、かけろふに似た
りむかしよりありて何ゆへといふをし
す少も仇をなす事なし雨夜はわけては
やく出る也此地へ始ての旅人寺のてふの
ほろ見んとて夜はなしなどに行ほると云
はかけろふなどの類ひこにあると見れ
は惣空中にわしる普化和尚などの類ひ
みな梵論也」

ちなみに、手斧(鉞)は湾曲した柄の先



上下二層の道路橋となっている現在の仲の瀬橋(宮城県仙台市青葉区)

に発行された『仙台市史 第6巻 (別篇
第4)』からご紹介しましょう。

「西公園の下から広瀬川を川内へ越
える大工橋を二夜橋といった。嘉祥2年
(849)8月のこと、飛驒工匠が奥州へ
来た時、雨のため広瀬川の水かさが増し
て、向こう岸にわたることが出来なかつ
た。それで、水がひくまで待つのも面倒
だといって、一夜のうちに橋を架けて渡つ
たという」

ここで語られる大工橋は、慶長6年
(1601)の仙台開府から6、70年後
に初めて架橋されたようで、飛驒匠が架
けたというのはあくまで伝説です。ちな
みに元禄7年(1694)には、「仲の瀬
橋」と改名され、昭和56年(1981)に
は上下二層の道路橋として架け替えら
れて、今に至っています。

セルキー (Selkie)

セルキーはスコットランドの妖精で、普



セルキー(当館職員 上原由子画)

段は海の中にいてアザラシの姿をしてい
ますが、陸に上がる時は皮をぬいで人間
の姿になります。人間の男が、女のセル
キーの皮を隠して結婚を強いるという、
日本の「天女の羽衣」のような話もある
など、この妖精の伝承は悲恋譚が多いと
言います。

ジジ・バンディアンの推理小説『壁から
死体? (秘密の階段建築社)の事件簿』
(原題:『Under Lock & Skeleton
Key』)には、主人公の祖母が語るセル
キーの話が紹介されています。もともと、
この話は著者の創作かもしれませんが、
なかなか面白いのでご紹介しましょう。

「ある小さな町、人々は小さな橋を造
ろうとした。ある大工は、煉瓦を積むの
に慣れていなかった。それで呪いの言葉を
つぶやいてしまった。それはとても危険な
ことだった。なぜなら、呪いの言葉をつぶ
やくことは、妖精に助けを求めることと
同じだからだ。

妖精は魔法で助けてくれたが、代わ
りに4人以上の人間がいっぺんに橋を渡つ
たら、その人たちの魂を妖精の国に連れ
ていくことになってしまった。

ある晩、鍛冶屋、パン屋、蝋燭職人が
橋を渡ったが、魂を奪われてしまった。あ

に鉄製の刃がついている大工道具で、原
木に近い材木の表面を削って滑らかに
するために使用されます。その歴史は
古く、弥生時代後期にはすでに存在し
ていたと推定されています。また、大工
の仕事始めには、この道具の名を冠した
「手斧始」という神事が行われており、
とても重んじられた道具だったことがわ
かります。

また、梵論については、『本朝俗諺志』
の末尾に蜻蛉のことで、普化和尚(虚無
僧)も梵論という説明されています。

飛驒匠

飛驒匠とは、奈良・平安時代に徴用さ
れた木工技術者のことです。これは律
令制の租(米)・庸(労役もしくは布・調
(特産物)として知られる徴税のうち、
庸と調を免ずる代わりに都で1年間働
かせるという全国唯一の特殊な制度に基
づきました。

都に上った彼らの仕事は、一般的な木
工や木挽、運搬などで、いわゆる大工職
ではなく、夏季以外は休日もない過酷な

労働を強いられました。

このような飛驒匠の制度が成立した
理由の一つとして、飛驒の人々は蝦夷と見
なされていた可能性があります。例えば
「飛驒」という国号ですが、蝦夷を表す
「ヒナ」と同義だったという説がありま
す。また、逃亡する者が多く、その捕縛
命令に「飛驒匠は言語や容貌が他国の
ものと異なるから、名前を変えてもわか
る」と書かれており、風俗や身体特徴が
都周辺の人々とは異なっていたようです。

ところで、飛驒匠が名工であるという
伝説は、『今昔物語』を皮切りに平安後
期あたりから発生してきます。『今昔物
語』では、「飛驒ノ工」が、有名な実在の
絵師である百済川成と技くらべをする
という話があり、「飛驒ノ工がつくった四
面すべてに入口をつけた四四方の堂に、
百済川成が入ろうとすると自動的に入
口の戸が閉まってしまい、どの方向から
も入ることが出来なかった」といい、尋常
ならざる工匠として描かれています。

くだって江戸時代の文化5年
(1808)には、SF大活劇ともいうべ

れ? 鍛冶屋、パン屋、蝋燭職人の3人なの
に? なぜ? ...」

おわかりになりますか? ヒントは傍
線部分「ある晩」です。実は、これは英語
の綴り遊びなので、日本語ではわかりに
くいですが、種明かしをしましょう。

実は「ある晩」(one night)ではなく、
「ひとりの騎士」(one knight)とごうオ
チで、3人ではなく、4人だったというな
ぞなぞでした。

ミノタウロス (Minotaur) の迷宮

太陽神の娘であるパーシパエーは、クレ
タ島クノッソスのミノース王の妃でした
が、ボセイドンがミノース王に贈った美
しい雄牛に恋心を抱きました。パーシパ
エーは、工匠ダイダロスに雌牛の張りば
てを作らせ、その中に入って雄牛に近づ
き思いを遂げ、そうして生まれたのが牛
頭人身の怪物ミノタウロスです。

ミノタウロスは、恐ろしく残酷な性格
だったため、迷宮(ラビュリントス)に閉じ
込められました。この迷宮は、やはり工
匠ダイダロスが造ったもので、中に入った
者は案内人なしに出口を見つけることは
できないよう設計されていました。

ミノタウロスは9年ごとに少年7人、少
女7人の生贄を必要としたため、アテー
ナイの英雄テーセウスに討たれることに
なります。

テーセウスの英雄譚は早くも紀元前
5世紀には古代ギリシア作家のバッキュ
リデースの手によって記されていると
W・H・マシューズの『迷宮と迷路の文化
史』にあります。

き『飛驒匠物語』が出版されました。主
人公の飛驒匠(猪名部墨縄は、「機巧絶
妙にして、その術は神技と申すべく、天
地造化の不可思議なる物をも難なく彫
鑿の上に表わし、木頭を以て鳥となし、
板片を以て馬を造るなどして二世の人々
を驚かせた賢き匠夫」であり、出版の翌
年には大阪で人形芝居も上演されてい
ます。こうしたメディアによって、飛驒匠
は全国的に知られる存在となっていた
のでしょう。

そうしたことから飛驒からも都から
も遠くはなれた仙台にも、飛驒の匠の伝
説が残っているので、昭和52年(1977)



ミノタウロス(当館職員 上原由子画)

ベネゼ (Bénézet)
フランス南部のアヴィニオンにある橋は、
ローヌ川がバルトラス島によって分岐す
る場所に架けられています。石橋であり、
石造部分は1250年頃に建てられてい
ますが、木造基礎部分はそれよりもずつ
と古い可能性があるそうです。

ジョーディス・デュブレの『世界の橋の秘密
ヒストリア』によれば、この橋の建設には
次のような言い伝えがあります。

「1178年、アヴィニオンで皆既日食
が起こった。おびえた人々は市場に集ま
り、そこで司教は人々に言葉をかけてい
た。すると、若い羊飼いのベネゼが、日食
は橋を架けよという神からのお告げだ
と言った。証拠を求める司教に対して、ベ
ネゼは巨大な石を持ち上げ、橋を架け
る場所まで運んで行った。彼は橋の建設
を任せられ、この奇跡をもとにカトリック
教会はその後ベネゼを聖人と認めた。
彼の架けた橋は、サンベネゼ橋としても
知られている」(つづく)

(文: 江口知秀)





愛知支店から

光り輝くレトロな美「名古屋市政資料館」

名古屋市の官庁街（中区三の丸地区）の一角に悠然と立つ赤レンガ造りの建物。それが、今回紹介する名古屋市政資料館です。大正11年（1922）、それまで別々に設置されていた控訴院（現在の高等裁判所）、地方裁判所、区裁判所を1カ所に集めた庁舎「名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」が完成。以来、昭和54年（1979）に名古屋高等裁判所および名古屋地方裁判所の機能が移転するまで、この建物が中部地方の司法の最前線を担う場所でした。

これらの機能が移転した後の庁舎は使用されなくなったため、建物を取り壊す計画が浮上しました。しかし、市民から「名古屋の貴重な文化遺産として残してほしい」という声が上がリ、昭和59年（1984）、建物の一部を国の重要文化財に指定。それに伴い建物の保存・改修工事が行われ、平成元年（1989）に市政資料館として生まれ変わりました。

この建物は、19世紀後半に欧米で主流だったネオ・バロック様式で建造され、正面中央にドーム屋根の塔屋を、両サイドに急勾配屋根の角屋を配したシンメトリーな外観です。また、外壁の赤いレンガと白い花崗岩の組み合わせが、美しいコントラストを生み出しています。

正面入り口を抜けると、その先にはメインホールの中央階段室が広がります。2階から吹き抜けの3階には、豪華な大理石の手すりが付いた階段と廊下がT字型に伸びており、階段を上り切った正面と「ヴォールト」と呼ばれるアーチ状の天井には、ひときわ目を引くステンドグラスが飾られています。

正面のステンドグラスには罪と罰が公平に釣り合うことを表現した「天秤」が、天井のステンドグラスには公明正大を表した「日輪」が描かれており、裁判所としての名残を感じさせます。また、中央階段室の4

カ所に設置されている黒色の柱には、上半分に大理石の模様を漆喰で描く「マール塗り」が施されており、この高度な技術の装飾も見どころとなっています。

さて、この資料館は、建物の展示・公開、歴史的価値のある公文書の保存・開示、市民が会議・講習会や作品展示などの活動を行うためのスペースの提供、という3つの事業を柱としています。

展示・公開の対象は、すでに紹介した外観や中央階段室だけではなく、創建時に設置さ



壮麗で豪華なネオ・バロック様式の外観を持つ名古屋市政資料館（愛知県名古屋市）

れた控訴院の会議室も、復元し公開しています。これら3つが、重要文化財です。このほか、明治憲法下の法廷や現行憲法下の法廷、昭和3年（1928）から昭和18年（1943）まで使用していた陪審法廷も、再現し展示しています。

公文書の保存・開示では、明治22年（1889）の市制施行後の公文書を中心に歴史的・文化的価値を持つ市政に関する資料も収集・保存し、公開しています。

スペースの提供では、市民がさまざまな文化活動で利用できる「集いの場」として集会室・一般展示室を貸し出しています。利用料のリーズナブルさ（例えば集会室は半日

1000円）と重要文化財の建物内というレア感から、利用者が増えています。

また、この建物はドラマや映画のロケ地としても有名で、最近ではNHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」（2024年4月

9月放送）に東京地方裁判所として登場しています。さらに結婚式場としても利用できるなど、「はて？この建物は一体何……？」と思うほど、マルチに



階段正面と天井のステンドグラス、大理石の階段手すり、大理石を模した柱のマーブル塗りなど、華麗な装飾が特徴の中央階段室

活躍しています。

名建築の鑑賞、名古屋の歴史の学び場、ロケ地巡りなど、国の重要文化財をさまざまな角度・視点で味わうのも面白いと思います。入館は無料なので、

気軽に立ち寄り、その多彩さを堪能してみてください。



当時の様子を再現した明治憲法下の法廷

（写真提供：（公財）名古屋観光コンベンションビューロー）

愛知支店

〒461-0008

愛知県名古屋市中区武平町5丁目1番地

名古屋栄ビルディング3F

TEL. (052) 962-3461 FAX. (0120) 027-516

編集後記

1月17日、阪神・淡路大震災発生から30年を迎えます。犠牲者への鎮魂と大震災の教訓を語り継ぐ「神戸ルミナリエ」、今年はどのような輝きを見せてくれるのでしょうか。改めて犠牲者への哀悼の意を表し、Photo Galleryで紹介させていただきました。

石川県では、昨年の元日に能登半島地震、9月には奥能登豪雨が発生し、大きな被害が出ました。新年を迎え、災害のない穏やかな一年であることを願わずにはいられません。未だ生活再建の目途が立たない方も大勢いらっしゃることでしょう。一日も早く平穏な日常が戻りますように。

本誌は今年も、安心・安全な暮らしを守るためインフラ整備に尽力されている建設産業とともに歩んでまいります。今年もよろしくお願いいたします。

お知らせ

建設業界のイメージアップおよび入職促進を目的とした映像コンテンツ新シリーズの第1話「update #1 福島 夜間トンネル工事」を公開中です。是非ご覧ください。



特集一覧

2013年	2014年	2015年	2016年
冬：あつまる	冬：よみがえる	冬：へらす	冬：くみあわす
春：うごかす	春：のばす	春：もてなす	春：ささえる
夏：そだてる	夏：はかる	夏：さかせる	夏：つなぐ
秋：おさめる	秋：たくわえる	秋：こわす	秋：たのしむ
2017年	2018年	2019年	2020年
冬：しる	冬：つかう	冬：あたたまる	冬：とりくむ
春：やすむ	春：かえる	春：かんがえる	春：つなぐ2
夏：いかす	夏：ふせぐ	夏：めざす	夏：たかめる
秋：あゆむ	秋：つたえる	秋：みせる	秋：みちびく
2021年	2022年	2023年	2024年
冬：ひきつける	冬：かさねる	冬：はたす	冬：かたる
春：つたえる2	春：むきあう	春：つくる	春：あらためる
夏：ふかめる	夏：みなおす	夏：きずく	夏：つどう
秋：ととのえる	秋：えがく	秋：めぐる	秋：みちびく2

EAST TIMES

禁転載

東日本建設業保証株式会社
<https://www.ejcs.co.jp>

事業内容：公共工事の前払金保証、中間前払金保証、契約保証、契約保証予約

公表資料：公共工事の動向、建設業景況調査、建設業の財務統計指標

公開施設：建設産業図書館

※本誌の掲載文のうち、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りします。
※誌面に関するご意見・ご要望、送付先変更等につきましては、弊社ホームページ「お問い合わせ」フォームより送信願います。



建設産業と、ともに歩みつづける



東日本建設業保証株式会社

建設業界への入職促進・イメージアップ動画公開中！！

update

YouTube 東日本建設業保証公式チャンネル

